

## ○ 北アルプス地域 ～「人」と「食」がつながる北アルプス山麓の農業農村～

### ■ 達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	計画 (2023(R5)年)	目標 (2027(R9)年)
1	中核的経営体数	423 経営体	450 経営体	500 経営体
	新規就農者数 (49 歳以下)	4 人/年	6 人/年	6 人/年
2	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	38%	46%	57%
	機械収穫適性に優れた大豆品種「すずみのり」の栽培面積	5 ha	100ha	100ha
	信州の環境にやさしい農産物認証制度取得面積・認定件数	156.1ha 44 件	160.0ha 45 件	170.0ha 49 件
	稼ぐ産地を支える基盤整備 (区画拡大等) の実施面積	27.0ha	10.0ha	82.0ha
3	高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積	3.1ha	0.0ha	13.0ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積(多面的機能支払+中山間直払)	4,122ha	4,202ha	4,202ha
	農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数	1 箇所	1 箇所	2 箇所
5	北アルプス山麓ブランド認定品目数	123 品	130 品	140 品
6	学校給食における県産食材の利用割合(品目ベース)	47%	47.5%	48%
	食農教育、農業・農村体験交流活動の実施回数	33 回	33 回	35 回

### 重点取組 1：北アルプス地域の農業を支える担い手の確保・育成

- 北アルプス地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進、人・農地プランの法定化に伴う「地域計画」の策定を推進
  - ・市町村工程表に沿った、現地支援チームによる進捗支援
- 北アルプス農業をけん引する中核的経営体の確保・育成を図るため、就農サポートと経営サポートを一元化した支援体制を構築
  - ・農業経営者総合サポート事業による経営改善支援
- 新規就農者の確保・育成と、支え手として多様な人材の確保
  - ・新規参入希望者、親元就農者に対する就農支援（就農相談 随時）
  - ・里親研修修了者の技術力・経営力の向上支援（個別指導）

### 重点取組 2：新技術の活用、持続可能な生産、稼ぐ産地を支える基盤整備の推進

- 高密度播種育苗・精密田植え技術など新技術を活用した低コスト・省力稲作の推進及びスマート農業技術の活用による生産の効率化
  - ・低コスト・省力稲作新技術の導入実証（2 か所）
  - ・スマート農業技術によるコスト低減実証（2 か所）
- 環境にやさしい農業（有機農業など）の面的拡大を推進
  - ・環境認証制度等の活用促進（新規及び再認定に向けた個別相談随時）
- 中核的経営体の経営安定に向けた基盤整備事業の推進及び導入品目の生産安定等を支援
  - ・担い手の規模拡大を支援する経営体育成基盤整備事業の工事着手（10.0ha）

### 重点取組3：マーケットニーズの高い園芸作物の産地づくり

- **りんご、ぶどう等県オリジナル品種を中心とした新植及び改植、園地更新等の推進及び品質向上に向けた技術支援を実施**
  - ・安定生産のための基本技術の励行（栽培管理講習会3回）
  - ・更新期を迎えた園地への県オリジナル品種等導入を推進（品種・栽培特性の周知1回）
- **水田への収益性の高い新たな品目導入のために、必要な機械等の導入に向けた補助事業等の活用支援**
  - ・収益性の高い新たな品目における作業の効率化を図るための作業機の現地実証（3経営体）
- **基盤整備ほ場の物理性の改善のため、緑肥作物の作付け等対策の実施**
  - ・実証モデルほ場を設置（2か所）

### 重点取組4：暮らしの場としての農村の振興

- **多面的機能を維持するため、地域住民を主体に企業との連携による地域ぐるみの共同活動のほか、住民主体で行う野生鳥獣被害防止対策の取組支援**
- **農村型の地域運営組織の組織化による農村コミュニティの維持**
  - ・先進事例の研修会等による地域組織への制度周知等

### 重点取組5：北アルプス山麓ブランド等を活用した地域振興

- **気象条件や立地条件など北アルプス山麓の特色を活かし生産された農畜産物や加工品を「北アルプス山麓ブランド」として認定**
  - ・新たな地域特産品の北アルプス山麓ブランド品としての認定（3品）
- **北アルプス山麓ブランド認定事業者に対する輸出に向けた商談会等の支援の実施**
  - ・北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会と連携し、台湾向け輸出に係るWeb商談会を開催（7月、1回）
- **観光業者と連携した販売促進の実施**
  - ・台湾への輸出、販売定着に向け物産展を開催（6月、11月 台中市「裕毛屋」）
  - ・現地事業者（旅行エージェント、教育関係者、メディア）へのPR活動（6月）

### 重点取組6：多彩な農村資源を活用した食の地消地産と食育の推進

- **学校給食等給食事業者が求める農畜産物の生産組織の育成と供給体制の整備**
  - ・推進会議の開催支援（3回）
  - ・農村生活マイスターを核とした食材提供用農畜産物の栽培技術支援（栽培勉強会2回）
- **農村生活マイスター等を核とし、栄養教諭等と連携した児童・生徒への食育活動による次世代への食文化の継承**
- **観光と連携した学習旅行等の受け入れ、収穫体験等の充実**
  - ・宿泊事業者の地域内農産物（クレソン等）の利用促進（学習会1回）
  - ・国内外からの学習旅行の受け入れや都市部からの誘客を促進し、地域内での農産物消費拡大等を図るため、旅行事業者を対象とした誘客プロモーションの実施（6月（台湾）、10月（大阪））